



目次

調査の概要

全体評価、知覚品質、システムの実装品質、音声認識、インフォテインメント、ナビ、ADAS、利便性、コネクテッドサービス、結論

車種別概要

- Cadillac Escalade
- Tesla Model S
- Mercedes Benz S Class
- BMW iX
- NIO ES8
- Lexus LS
- Hyundai IONIQ 5
- CUPRA Formentor

関連レポート

UXベンチマーク評価シリーズ

レポート番号: 635

本レポートシリーズでは、インフォテインメント、ADAS、デジタルキー、VPAなどのHMIのUXや利便性を実車評価する。(モデルによっては全ての評価項目を備えているわけではない。)

2021年度の評価対象車種/システム：
Mercedes Benz S Class、CUPRA Formentor、Tesla Model S、Hyundai IONIQ 5、Lexus LS、BMW iX、Cadillac Escalade、NIO ES8

レポート番号：635(21)



In-Car HMI UX Evaluations

UX ベンチマーク評価 2021年評価車種の総括

車両への採用技術が増加する中、搭載システムをユーザーがどのように評価しているかを理解しておくことが非常に重要です。車内UX（ユーザーエクスペリエンス）はブランドの差別化において重要な要素であるだけでなく、長期的な顧客ロイヤルティの確立にも影響を及ぼします。

SBD Automotiveの2021年HMIベンチマーク評価シリーズでは、欧州、米国、日本市場の最新の車載HMIソリューションについてコネクテッドカー、ADAS、自動運転車などのCASE分野に精通したSBDのユーザービリティ評価のエキスパートによる検証・評価を提供しており、本書はそれらの結果を総括するものです。

調査対象車種：Mercedes Benz S Class、CUPRA Formentor、Tesla Model S、Hyundai IONIQ 5、Lexus LS、BMW iX、Cadillac Escalade、NIO ES8





対象市場

欧州	北米	中国
日本	グローバル	その他

レポート発行頻度

		
毎年更新	四半期更新	年間8車種

レポート形態

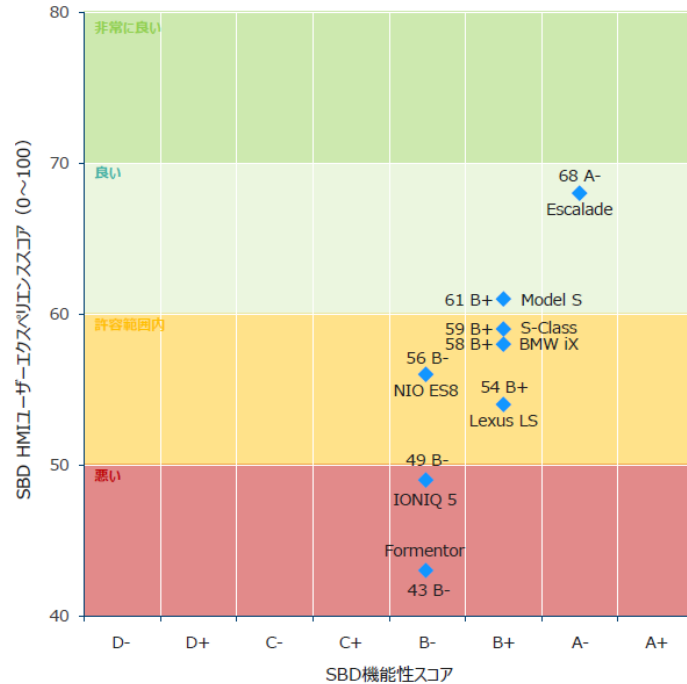
			
PDF	PowerPoint	Excel	Online

ページ数


45

お問い合わせ 

2021年度に実施した8車種のUX評価を総括



総合的な機能性スコアについては比較的分布が小さく、9段階のうち3つ（A-、B+、B-）に偏在している。これは、大半の車種に何らかの不足している機能があるものの、CUPRAやHyundaiなどの下位セグメント車種も含めて機能の最低水準が高いことを意味している。上位セグメント車種は期待通り機能性スコアが高く、Tesla、Mercedes、BMW、Lexusはいずれも「B+」を獲得した。Cadillacは非常に高レベルのナビ機能を備え、魅力的機能・基本的な機能・IoT・ADAS・音楽の機能も水準が高いことから、唯一「A-」を獲得している。

本書では、SBDが2021年に8車種を対象として実施した一連のUXベンチマーク評価の結果をまとめている。

SBDカスタマーポータル

ご契約いただいたレポートへはお客様専用ポータルサイトからアクセスいただけます。

ポータルサイトのアカウントはご契約企業ごとに作成され、ご契約企業に所属する方であれば登録ユーザー数に制限はございません。

ご契約状況の確認や、ポータルサイトへの新規ユーザー登録をご希望の場合は、SBD Automotive ジャパンまでお問い合わせください。



UX ベンチマーク評価
2021年評価車種の総括

発行年月：2022年2月
レポート番号：CON635-21(21i)

本書に関するお問合せ・お見積り依頼

「UXベンチマーク評価：2021年評価車種の総括」

お問合せ・お見積り依頼



サンプルレポートの無料ダウンロード

